

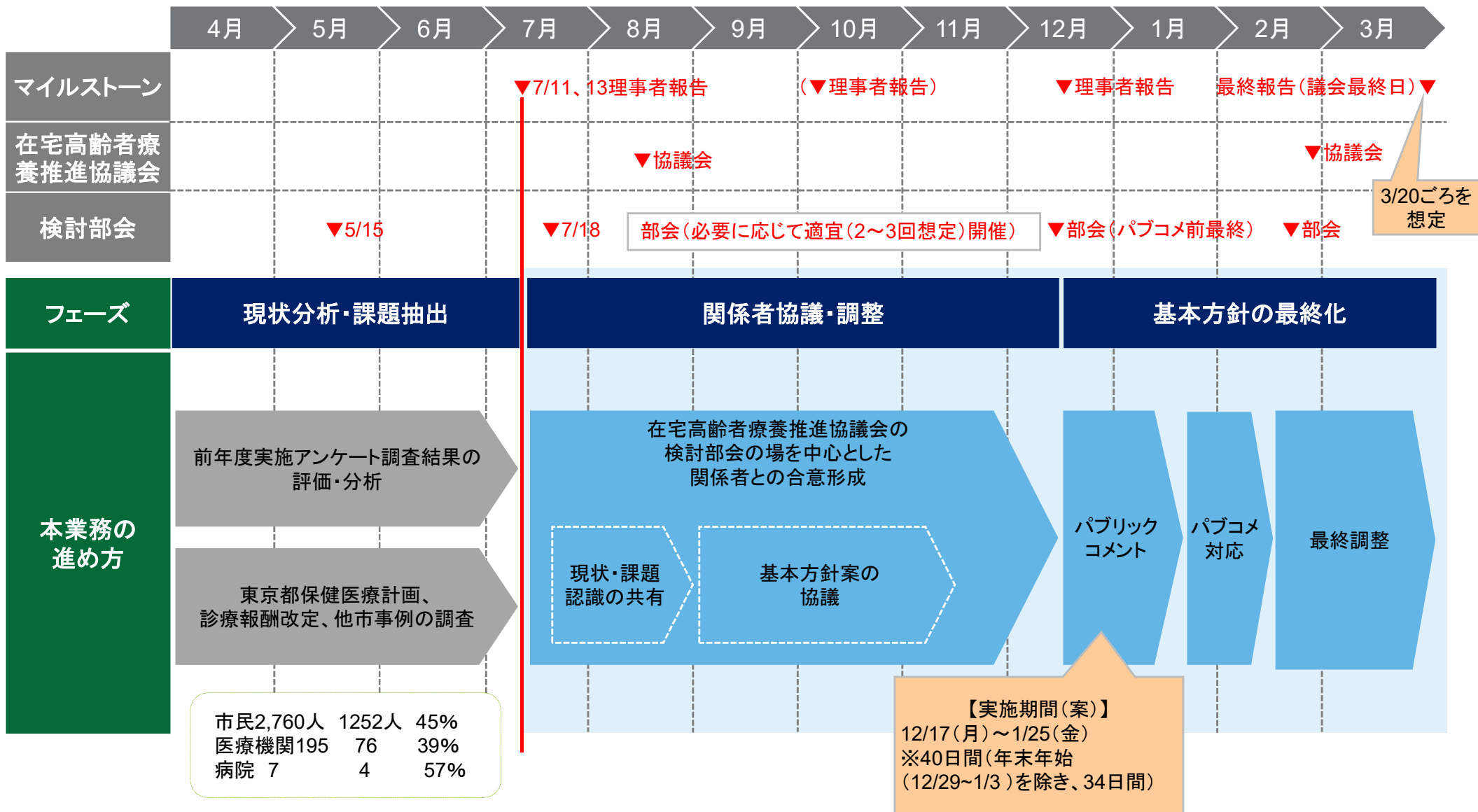
日野市在宅療養体制構築のための基本方針策定支援業務 中間報告資料 (平成30年7月)

【報告事項】

- 1 基本方針策定に向けたスケジュール(案)
- 2 「日野市在宅療養推進体制構築のための基本方針」の構成・概要(案)
- 3 今回整理した現状分析・課題抽出(叩き台)のまとめ

基本方針策定に向けて計画どおり進捗しており、今後は検討部会の場を中心に関係者との合意形成を進めながら、12月中旬のパブリックコメント開始を目指します

基本方針策定に向けたスケジュール(案)



(1) 基本方針策定の背景・目的

検討の背景

ベッドタウン型人口構造がもたらす急速な超高齢化の進展

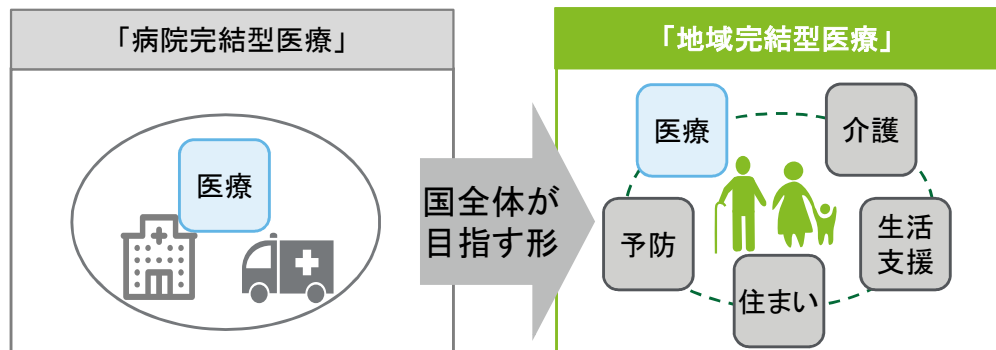
高度成長期に急拡大した人口の高齢化により、日野市も既に超高齢社会※に突入しています。今後も高齢化率は急上昇を続け、全ての団塊世代が後期高齢者となる平成37年に26.7%、全ての団塊ジュニア世代が高齢者となる平成52年に34.4%に達します。

※高齢化率21%以上の社会



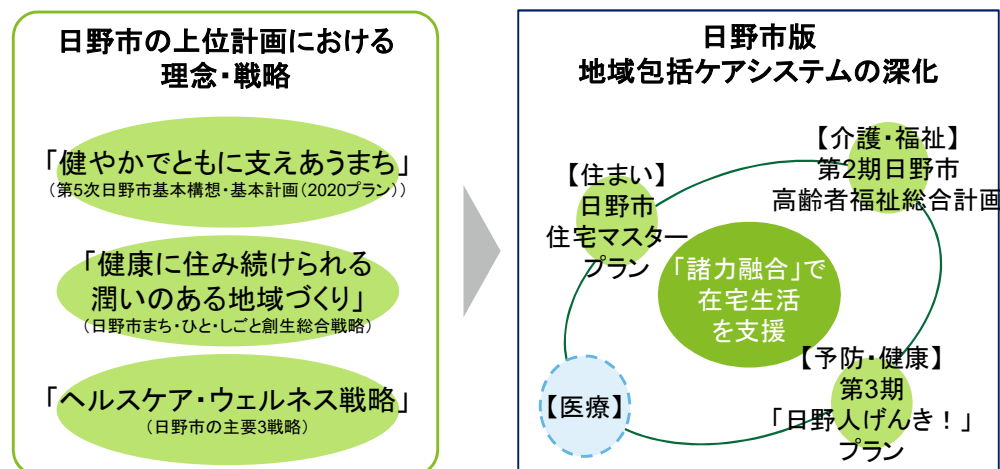
地域包括ケアシステム構築の必要性

日本全体として少子高齢化が進行していることを受け、国は地域包括ケアシステムの構想を提示・推進しており、その中で地域医療の在り方も大きく転換しています。日野市においても、地域の特性を踏まえて、医療を含めた関連分野の連携体制を構築していくことが求められています。



日野市で在宅療養体制構築を検討する意義

左記の状況を踏まえ、高齢者医療、特に在宅医療は地域包括ケアシステムを推進する上で重要な基盤となるものであり、日野市が医療分野の方針策定に取り組むにあたり、優先度・緊急度の高いテーマであると理解しております。



市独自の取り組みならではの機動的対応

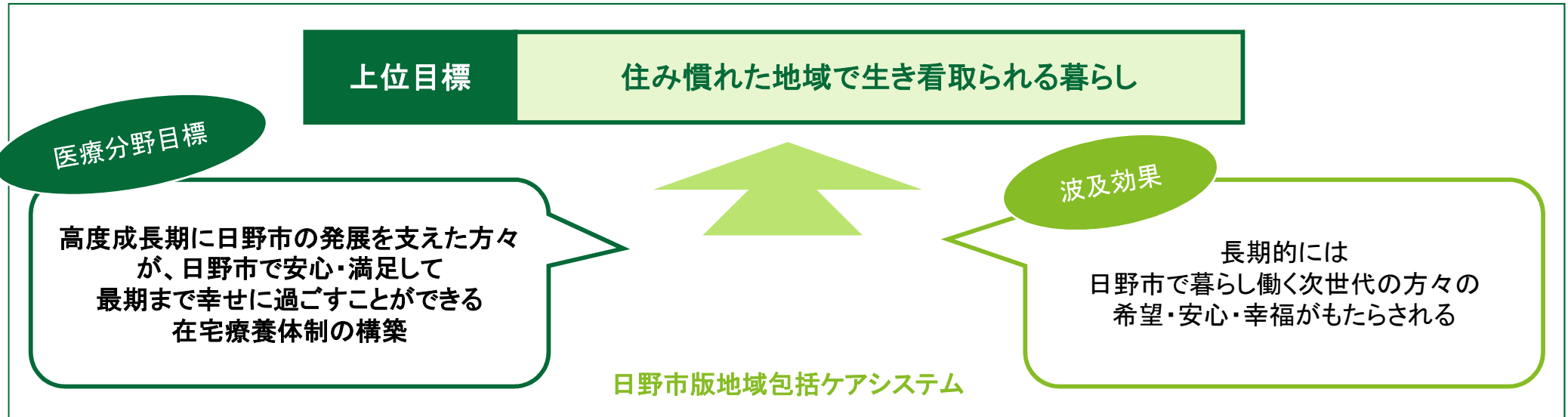
地域包括ケアシステムとの関連性を踏まえ、多岐にわたる医療分野の論点の中から在宅医療に焦点を絞り込む

日野市在宅療養体制構築のための基本方針の策定（本業務）

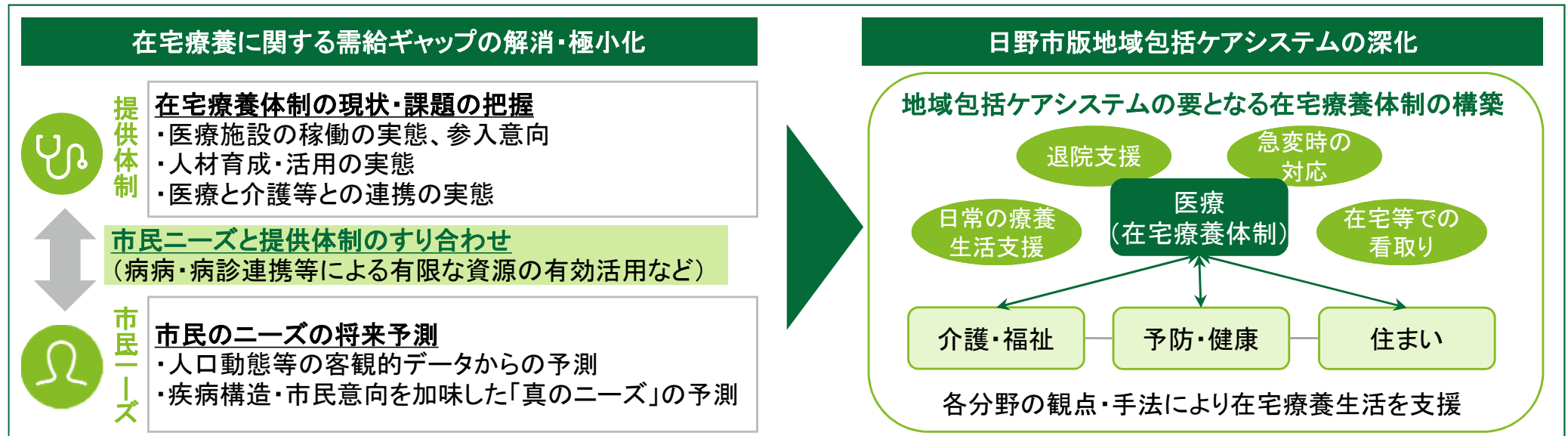
「住み慣れた地域で生き看取られる暮らし」の実現

(2) 日野市が目指す姿

日野市が目指す姿(案)

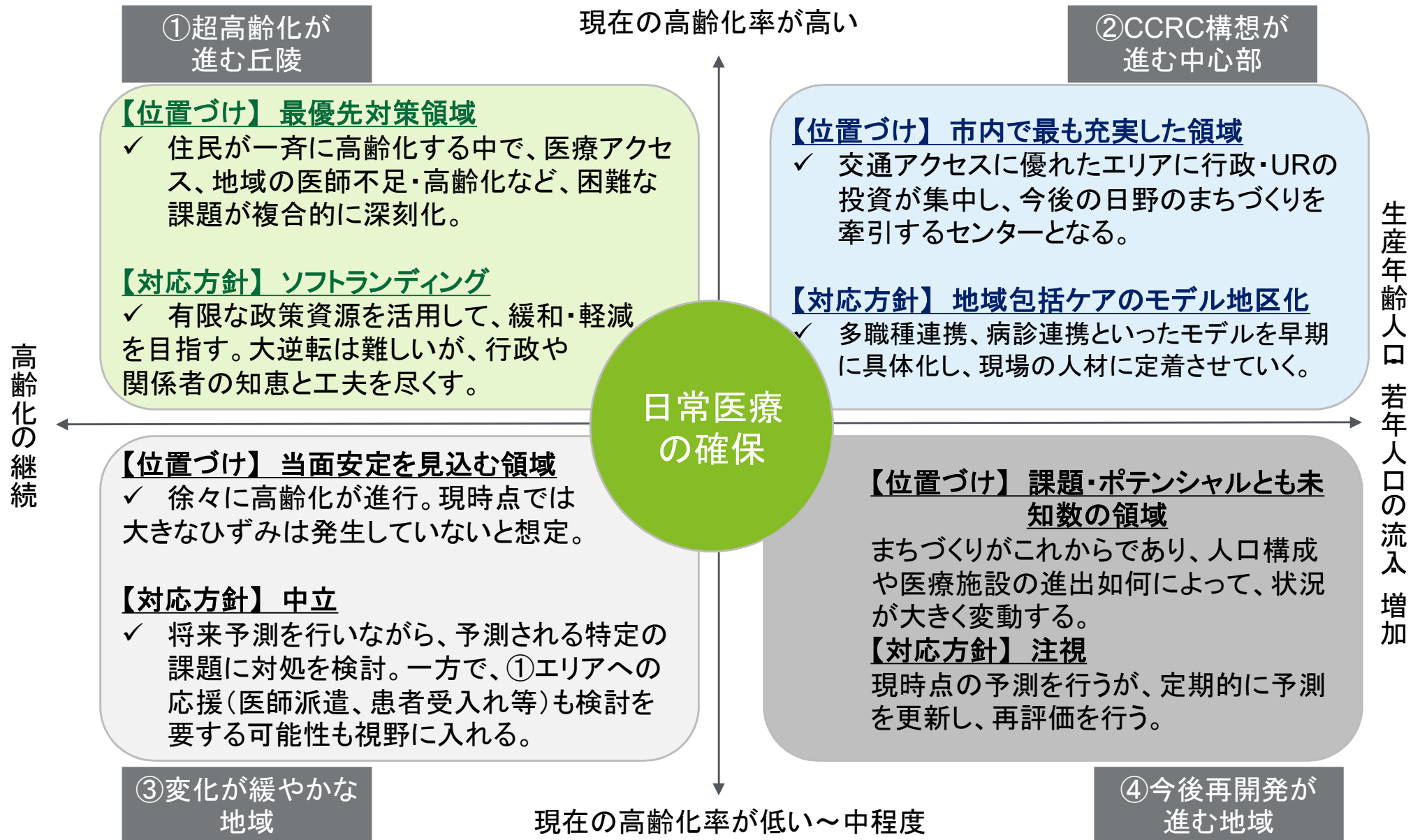


医療分野における取組みの方向性



2025年に向けた基本方針

検討領域ごとの対応方針



アンケート調査結果等により在宅療養に関する需要の増大傾向が可視化されたところであり、今後は供給側の対応強化が主な課題となっていくと考えられます

現状と課題のまとめ(基本方針第2章第6節)(案)

テーマ	現状	課題	第2章の記載箇所
地域医療全般	高齢化の影響で医療を必要とする人が増えるため、医療機関がこれまで以上に混み合う可能性があります。	■ 限られた医療資源を適切に利用する工夫が必要です。	第1節
	医療関係者が感じている以上に、患者数が増加していく可能性があります。	■ 患者数の増加を見極めたうえで、医療資源の確保が必要です。	第2節
在宅療養	市民は在宅療養に関心があってもよくわからないことも多く、相談できなかったり、家族の負担を不安に感じたりしており、納得できる選択がしづらい状況です。	■ 在宅療養を身近に知り、相談できることが必要です。	第3節
	在宅療養の推進のためには医療と介護の連携が重要とされていますが、地域によって医療介護連携の進み具合はまちまちです。	■ 医療関係者と介護関係者の連携を深めることが必要です。	
入退院支援	退院時に地域の診療所を紹介されなかった場合に、退院後の生活に不安を感じるケースがあります。	■ 退院後に安心して地域の診療所につながるができる仕組みが必要です。	第4節(1)
日常の療養生活支援	訪問診療の需給は現在のところマッチしていると考えられますが、今後は需要の方が多くなっていくことが想定されます。	■ 訪問診療の需要拡大を見据えて、供給量を確保していくことが必要です。	第4節(2)
急変時の対応	往診の需給は現状で既に供給が不足している可能性があり、今後はさらにギャップが拡大していくことが想定されます。	■ 往診の需要拡大を見据えて、供給量を確保していくことが必要です。	第4節(3)
	救急医療について、医療資源の適正利用が求められています。	■ 救急時の対応について市民と医療側が共通の認識を持つことが必要です。	
在宅等での看取り	看取りの需給は現状で既に供給が不足している可能性があり、今後はさらにギャップが拡大していくことが想定されます。	■ 看取りの需要拡大を見据えて、供給量を確保していくことが必要です。	第4節(4)
特色のある地域	多摩平では施設面での充実が図られてきたのに対し、連携の仕組みづくりがこれからという状況です。	■ 多摩平エリアでは、医療・介護関係者の連携体制の強化が必要です。	第5節(1)
	丘陵部では既に需要過多の状況が発生しています。	■ 丘陵部には、需給両面からの重点的な取り組みを検討することが必要です。	第5節(2)

		構成	概要
第1章	基本的事項	第1節 基本方針策定の背景・目的	「住み慣れた地域で生き、看取られる暮らし・福祉・医療の展開」のため、地域の関係者と協議して日野市独自の方針を策定する。
		第2節 日野市が目指す姿	日野市版地域包括ケアシステムを支える在宅療養体制を構築し、在宅療養が市民にとって身近な選択肢の一つとなることを目指す。
第2章	日野市の在宅療養体制の現状と課題	第1節 市民の受療行動	地域医療全般について、需要と供給がバランスしているかという観点からの現状分析・課題抽出を行う。
		第2節 市内の医療体制	
		第3節 在宅療養に対する意識	在宅療養について、需要と供給がバランスしているかという観点からの現状分析・課題抽出を行う。 7/18検討部会の議題
		第4節 在宅療養の需要と供給	
		第5節 特色のある地域	
		第6節 現状と課題のまとめ	分析を踏まえた現状・課題のまとめを行う。

第3章	2025年に向けた基本方針	<p><目的> 住み慣れた地域で 生き看取られる 安心して住み続けられるまちの実現 ～日野市版地域包括ケア体制の構築～</p>
第4章	重点プロジェクト	<p><基本理念></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉の側面から、市民生活に安心を提供し、居住の継続性を図る ・市民を中心に医療・福祉の関係者が相互の立場を理解し、意識の共有を図る ・地域で市民を支える関係者はそれぞれの専門性を活かして協力して行動する
第5章	今後の進め方	<p><施策の方向性></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 在宅での療養を市民に周知するとともに、相談体制の整備を進めます (2) 介護者の負担軽減を図る支援策を充実します (3) 関係者間での意識と情報の共有を図り、介護者を支援するネットワークを強化します (4) 市民の希望に応える終末期ケアと看取りに関する体制を整備します (5) 医療資源の最適化と近隣地域との相互連携に取り組みます